

1～3号機放水路溜まり水の調査及び対策について

2015年11月26日

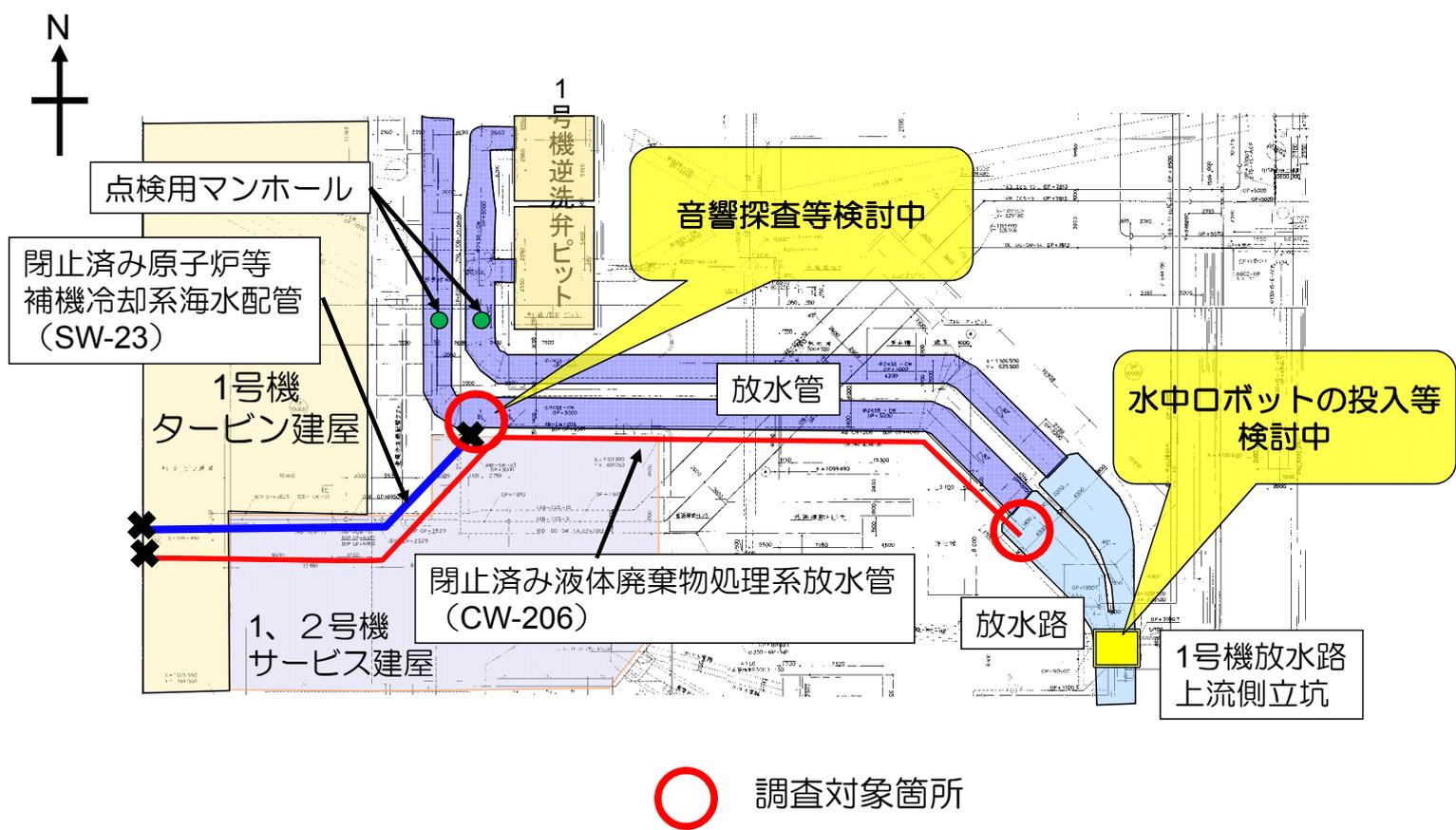
東京電力株式会社



東京電力

1-1. 1号機放水路上流側立坑における流入経路調査について

- これまでの調査で、タービンルーフトレン、排水路流入水、逆洗弁ピット及び放水管など、汚染水の流入経路の調査を行ってきたが、セシウム濃度上昇の原因は特定できていない。
- 1号機タービン建屋東側では、セシウム濃度が10万Bq/Lを超えるような高濃度の溜まり水等は確認されておらず、建屋側からの配管も含めて、経路の洗い出しを実施。
- 図面等の調査の結果、過去に閉止した配管がタービン建屋と放水管の間の地中に残っていることを確認したことから、経路のひとつとして調査することとした。
- 現在、具体的な調査方法を検討中。



○ 調査対象箇所

2. 2号機放水路全ベータ濃度上昇に係る調査について

- 2号機放水路 上流側立坑の全ベータ濃度上昇については、5月13日に発生して以降、速やかに濃度が低下し、その後は上昇は見られておらず、事象に再現性が見られない。
- 現時点で、流入経路の特定は難しいことから、各流入部位に採水用の水受けを設置して流入水が溜まるようにしておき、放水路 上流側立坑で再度の濃度上昇が確認された際には、これらの水を採水、分析することにより、経路の絞り込みを行えるように準備を実施。

表 2号機放水路 上流側立坑流入水調査対象

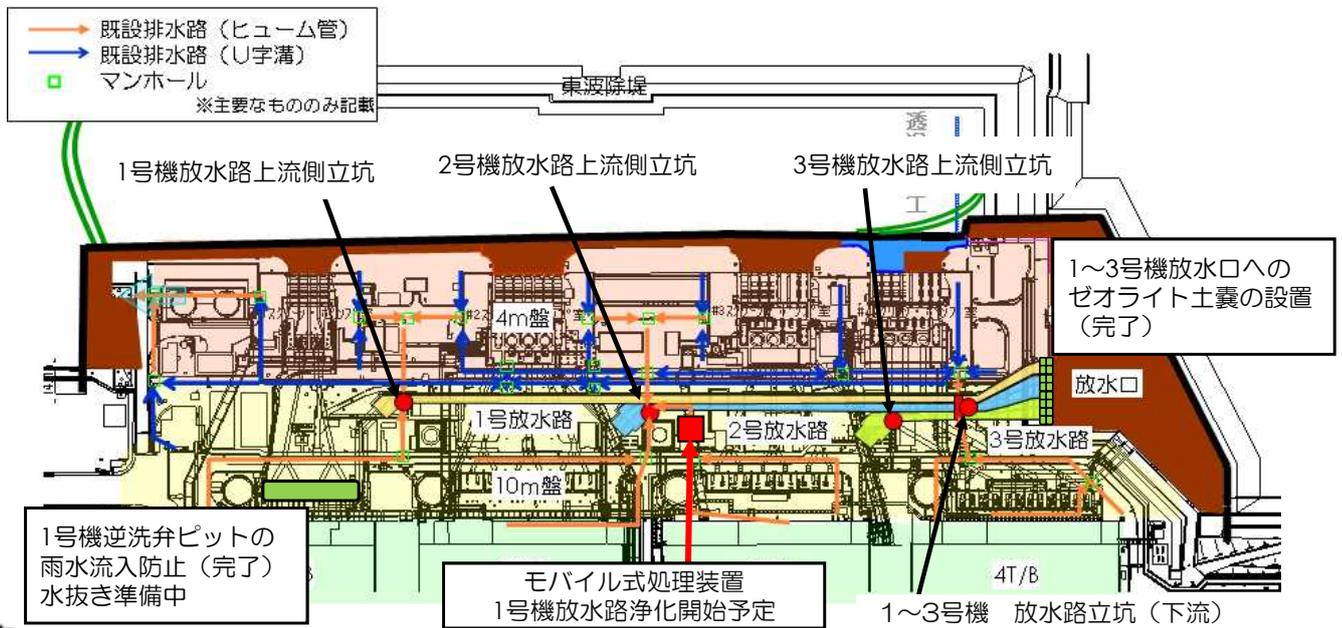
調査対象	経路上に存在する汚染水等
① 2号機側10m盤排水路排水	2号機タービン建屋ルーフトレン、2号機タービン建屋周辺雨水、4m盤ウェルポイント移送水
② 3号機側10m盤排水路排水	3号機タービン建屋ルーフトレン、3号機タービン建屋周辺雨水
③ 薬品タンク堰からの排水	2号機薬品タンク堰内雨水等
④ その他の配管	軽油タンク周辺雨水等



採水用の水受けの設置状況

3. 1～3号機放水路溜まり水対策の状況

- 放水路の溜まり水対策として、濃度の高い1号機放水路を優先的に対策を実施。
- 放水口については、1～3号機全てにゼオライト土嚢を設置済み。
- 1号機放水路のモバイル式処理装置については、使用前検査終了証を11月20日に受領。準備が整い次第浄化を開始する。
- 浄化開始までの間、1号機放水路上流側立坑に設置していたセシウム吸着材（約11.5kg）は、11月4日に撤去。



4. モバイル式処理装置による放水路の浄化について

- 1号機放水路浄化用のモバイル処理装置は、11月20日に使用前検査終了証を受領。準備が整い次第浄化を開始する。
- 使用前検査時に採取・分析した処理前後の水質は下記のとおり。

	放射性物質濃度(Bq/L)		DF (入り口濃度/ 出口濃度)
	モバイル処理装置 入り口水	モバイル処理装置 出口水	
Cs-134	910	<15	60以上
Cs-137	3800	<25	150以上

